



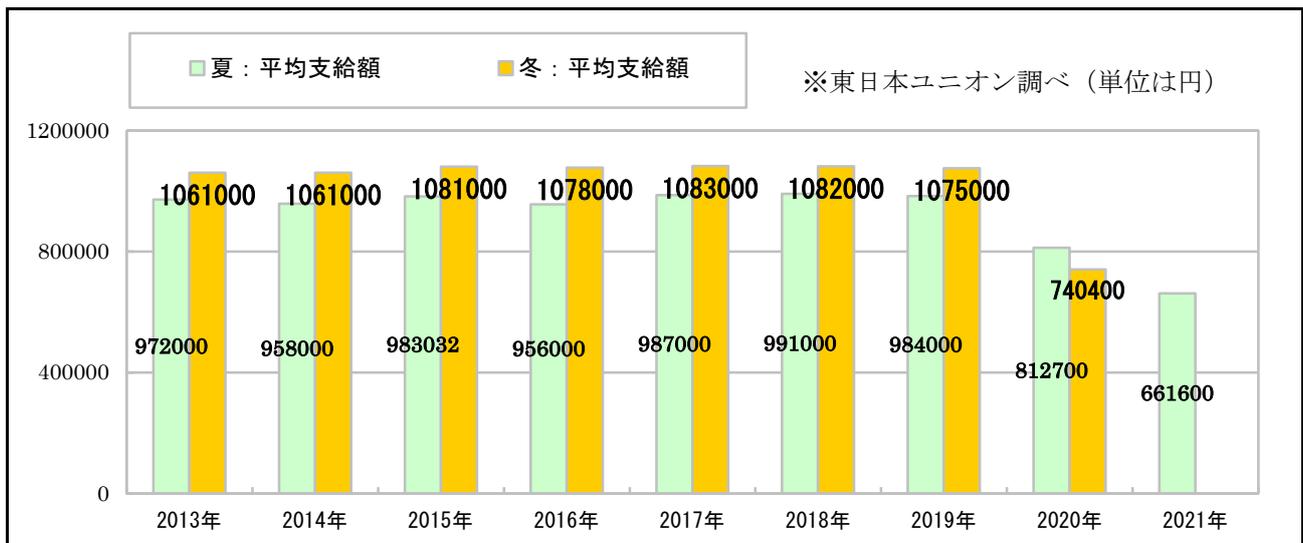
HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2021年10月14日 No.364

## 「年末手当」について振り返る

右肩上がりの業績であった2019年度の期末手当と比較して  
2020年度は平均支給額で**マイナス約50万円**



## ローンの支払いなど、取り巻く生活環境は厳しいものに

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、J R 東日本の業績悪化に伴い期末手当の支給については2020年夏季手当より下がり続けています。2019年度の期末手当と2020年度の期末手当を比べると、およそ50万円も減額となっています。

私たちの生活は、東日本ユニオン NEWS No.362号でもお知らせしたように、今年の10月1日よりたばこをはじめ、様々な食料品や電気、ガス料金などの値上げが実施され、期末手当は安定支給と経営側が述べていたことから、とくにボーナス併用ローンで自動車や住宅を購入した社員は非常に苦しい家計となっています。

## 年末手当が下がり続けて

**安心した生活ができますか!?**

## 年末手当の要求を掲げ

**会社と交渉できるのは労働組合だけです!**

**東日本ユニオンに加入し、一緒に声をあげ  
年末手当要求の実現をめざそう!**